

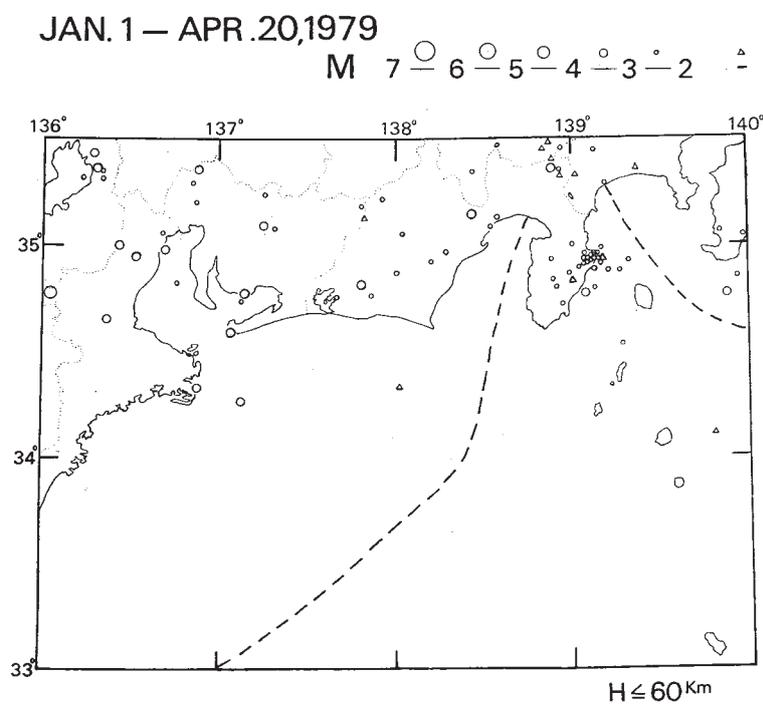
4 - 5 昭和 54 年 1 月以後の東海地方の地震活動

Seismic Activity at the Tokai District

気象庁・地震予知情報室

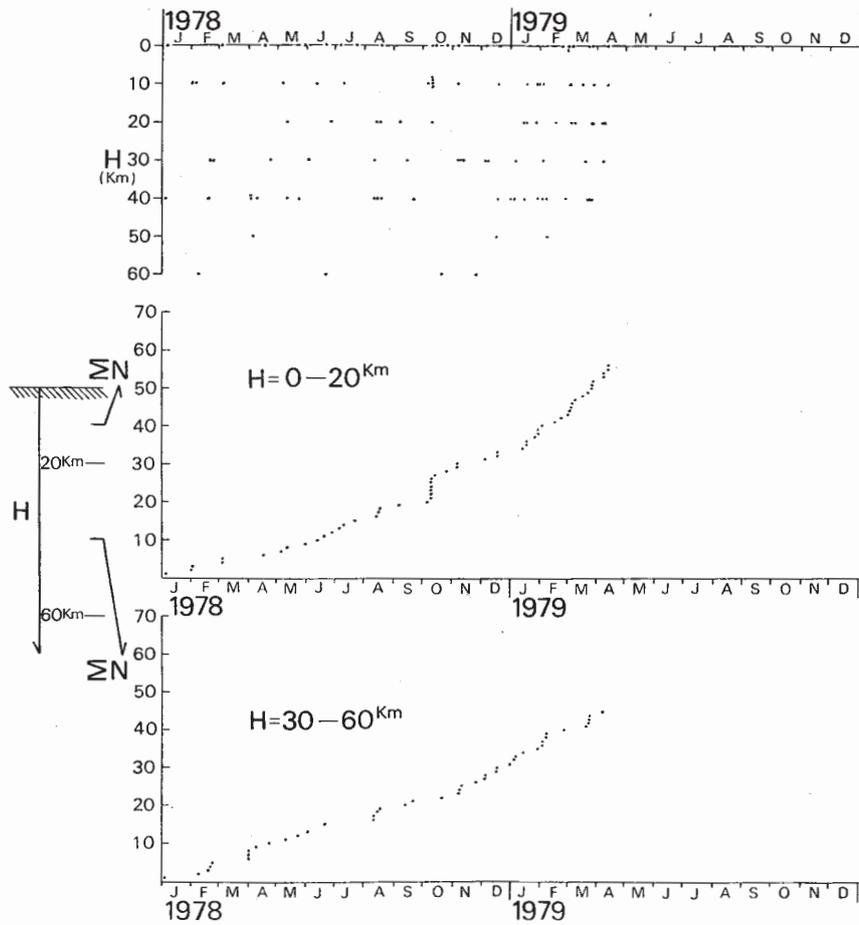
OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

第 1 図は昭和 54 年（1979 年）1 月以後 4 月 20 日までに気象庁が震源決定した東海地方を中心とした震央分布図である。また第 2 図は駿河トラフ以西の昭和 53 年（1978 年）以後昭和 54 年（1979 年）4 月 20 日までの深さ別の地震活動の変化である。これらの図から、伊豆半島周辺では川奈崎沖の地震活動はなお群発をくり返しているが、駿河トラフ以西の東海地方の地震活動は前年同様ほぼ定常的であり、異常な変化は見当たらない。



第 1 図 東海地方の震央分布図

Fig. 1 Distribution of epicenters observed at the Tokai district from January to April 20, 1979.



第2図 駿河トラフ以西の地震活動

Fig. 2 Seismic activities of the western part of Suruga Trough.